

わたしたちの街に新しい発見

ふ♥れ♥あ♥い

いかた

1月号

No.21

平成19年
1月1日発行

生涯学習だより

発行■伊方町教育委員会 編集■生涯学習課 印刷■(株)豊予社

はばたけ未来へ！子ども達！



瀬戸中学校

地域・家庭・学校が一体となって将来を担う子どもたちの育成に努めましょう。

今月の主な紙面

- 年頭所感
- 成人講座開催の案内
- 公民館だより
- 学校通信
- 伊方スポセンだより
- 体育功労表彰該当者は申請を…
- 児遊館より
- 図書館だより
- 町見郷土館から
- 佐田岬民俗ノート
- 人権学習シリーズ
- 広報 文芸

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

1月のテーマ

“希望を語り合おう”

(実践方法)

- 家族そろって今年の目標をたてたり、新しい年の生活設計について話し合おう。

年頭所感

伊方町教育長

田村ヤエ子



新年 明けましておめでと
うございます。

皆様におかれましては、ご
家族お揃いで清々しい新春を
お迎えのことと存じます。

旧年中は本町における教育
行政の推進に対しまして格別
のご高配を賜り厚くお礼申し
上げます。

十八年四月一日、新生三崎
中学校が誕生いたしました。

二名津中学校PTAの「子ども
第一主義」にたった英断による
ものです。時の流れとともに
社会の情勢は激変し、少子化
の波をもろに受けました。よ
り恵まれた環境の中で、質の
高い学校教育を受けることは、
伊方町内のすべての子どもた
ちの幸せであり、保護者の願
いです。

校長先生を中心にした教師
集団とPTAのおかげで新生
三崎中学校の活躍は目覚まし
く学校統合の成果が現れてい
ます。

統合に関わっていただきま
した関係各位に厚くお礼申し
上げますとともに、今後とも
温かいご支援をお願いいたし
ます。

十八年八月と十月に生涯学
習センターと図書館が開館一
周年を迎えました。皆様の学
びの場・憩いの場・ふれあひ
の場としてご利用いただいて
いるところでございます。

学校教育では、子どものた
めの安心・安全な学校づくり、
基礎学力の確かな定着、個性
を生かした指導等に努めてま
いりました。不審者対策では、
「いじめ隊」「ペンギン隊」等
地域の皆様にご支援いただき
ました。ありがとうございました。

全国的な最
重要課題であ
ります「いじめ
等」に対して
は、学校・家
庭・PTA・
関係機関等社
会総がかりで
予防に努めた

いと思っています。とりわけ子ど
もにとって心を育て心を養う
場である家庭教育の充実は必
要不可欠です。

社会教育面では、学習機会
の提供、公民館活動を通じた
地域づくり、人権尊重の町づ
くり等積極的に推進していま
います。喜びの風薫る町伊方、
小さくてもきらりと光る地域
社会の担い手にふさわしい人
材育成が重要な課題でありま
す。皆様方のご支援・ご協力
を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様
のご健勝とご多幸を心からお
祈り申し上げます。新年のご
挨拶といたします。



謹んで新年の

お慶びを申し上げます

教育委員長 西川 喜祐
教育委員 塩崎 幸生
教育委員 松田 光一
教育委員 森 晴

平成18年度

伊方町PTA連合会 講演会

●とき 平成19年1月20日(土) 14時40分から

●ところ 三崎小・中体育館

●講師 三代目 林家染二

【学歴】

1984年 龍谷大学法学部卒業

中学校・高等学校社会科
教員免許取得

【入門】

1984年9月 林家染二(現 四代目林家染丸)

芸名 染吉

【襲名】

1997年10月 三代目林家染二を襲名

【受賞歴】

1993年 NHK新人演芸大賞 優秀賞

1996年 大阪文化祭 奨励賞

1998年 第53回文化庁芸術祭 演芸部門優秀賞

(2004年にも受賞)

2004年 第33回上方お笑い大賞 最優秀技能賞

受賞

演 題

「これだけは親として伝えたい」

講演はどなたでも参加できます。

より多くの方が視聴されますようご案内いたします。



「日本女性会議2006」 「ものせき」に参加して

——いかた女性塾 中田綾子——

私たち女性塾生8名は10月6日（7日、山口県下関市で開催された日本女性会議に参加しました。

会場には「男女共同参画」を合い言葉に、全国から4000人を超す参加者が集い、我々を迎え入れる関係者や大勢のボランティアスタッフの熱気が溢れていました。

大会初日、「We are〜わからないから信じあう。知らないから支えあう。」のテーマのもと、白石真澄さんによる基調講演「男女共同参画の潮流」を聴講しました。その後、「農林漁村における男女共同参画」「地域（くみ）」「次世代育成支援など12会場に分かれての分科会にそれぞれ参加し研修、交流を行いました。

子育て支援については親子支援の大切さを知り、農林漁村においては、第一次産業の従来イメージにとらわれず生活を楽しみ、経営参画により社会的、経済的に自立して地域社会に貢献する女性の生き方を学びました。

翌7日は女優市原悦子さんの「私が信じた道、私が歩む道」と題しての記念講演がありました。自身の生い立ちや女優活動を通しての体験など、

張りのある声で、時にはユーモアを交えながらのお話に、参加者一同魅了されました。

全国から集まった女性たちは、交流を深め、日頃の活動を発表し、何かで帰ろうと目が輝いていました。今回、いただいた「力」を形にしたいと、強い思いで研修を終え、帰町いたしました。



平成十九年成人講座開催のご案内

当年厄年と言われる33歳、42歳、及び還暦61歳の方が一堂に集い、学習や交流の場を通じて、充実した人生設計や家庭、町づくりを考える意義深い一日を過ごすことを趣旨として「成人講座」を開催いたします。

三町が合併してから、初めて町内一会場で実施いたします。

町内在住の対象者の方には案内がきを送付いたしますので、多数のご参加をお願いいたします

日時 平成19年1月28日(日曜日)
場所 生涯学習センター 5階多目的ホール

今回の対象者は次のとおりです。

33歳の女性

昭和50年4月2日〜

昭和51年4月1日生まれの方

42歳の男性

昭和41年4月2日〜

昭和42年4月1日生まれの方

61歳の男性・女性

昭和22年4月2日〜

昭和23年4月1日生まれの方

海と島に生きる

テーマ展案内

この展示では、昭和初期から30年代の愛媛県海や島々の生活を記録した写真を取り上げています。

その中に佐田岬半島(伊方町)の写真が多く紹介されておりますので、興味のある方はぜひご覧ください。

又、65歳以上の方は無料になります。

詳しい問い合わせ先は次のとおりです。

愛媛県歴史文化博物館

〒797-8511 西予市宇和町卯之町4-11-2

お問い合わせ 0894-622-6222

<http://joho.ehime-iinet.or.jp/rekinaku/>



▲ 海藻を運ぶ神崎の女性 昭和20年代

開館時間 午前9時〜午後5時(入館は閉館の30分前)
休館日 毎週月曜日、12月29日〜1月3日
(但し、1月8日(月)、2月5日(月)は開館、1月9日(火)は休館)
観覧料 常設展示観覧料でご覧いただけます。
大人500円(400円)小中学生 無料
*()内は20名以上の団体料金
*65歳以上の方は無料

「牛鬼の頭づくり教室」

瀬戸公民館

瀬戸公民館では、五月の中旬から昨年度に引き続き「牛鬼の頭づくり教室」を開催しました。

受講者には大変好評なこの公民館講座ですが、今年度も十四名の参加を得て無事最後まで完成することが出来ました。ダンボールを使った型紙作りから始まり、粘土を貼り付け顔の形を作り、個人の好み

の色をぬり、最後に髪の毛をつけて完成です。

全10回の工程を終え、見事に出来上がった「牛鬼の頭」は文化祭に出展し、たくさんの方から評価を頂きました。なお来年度につきましては瀬戸公民館及び四ツ浜分館でも開催する予定です。皆さん一緒に作ってみませんか。



「さつま汁」づくりに挑戦

町見公民館

町見地区の中学生を対象に、十一月十八日(土)、「郷土料理教室」が行われました。

当日の参加は中学生十名・地域の高齢者三名・その他関係者の計十六名で、郷土の伝統の料理である「さつま汁」を作りました。

この事業は人権に関する学習を総合的に推進することを目的とした教育集会所のなかの中学生交流学習会のひとつとして実施されたもので、今回の体験活動については中学生が自分たちで企画し「地域の伝統文化を学び、併せて地域の高齢者との交流を図る」ことを目的としています。

楽しく調理していました。

調理後は、各班自分たちが作った「さつま汁」を味わいながら、地域によっては食材に違いがあること等を話したりと交流を深めていました。

地域の伝統料理である「さつま汁」づくりを通して、高齢者とふれあい、郷土の良さにふれる良い機会になりました。

調理は三つの班に分かれて行い、それぞれの班に講師であるおばあちゃんが指導者として付けていただきました。魚を焼いたり、すり鉢で味噌と魚の身等をすり合わせたりと、各班毎に役割分担をして手際よく、



みんなの施設、ピカピカに光って!!

三崎総合体育館・三崎公民館清掃

三崎総合体育館を利用している三崎中学校の生徒と一般の方、また三崎公民館を利用している女性講座の受講生の皆さんが、日頃利用している施設の大掃除を12月11日と11月28日にそれぞれ行いました。

三崎総合体育館は、利用者が定期的に清掃作業を行っており今回はアリーナ、ロビー、トイレ、2階と館内全体の大掃除を行いました。アリーナの清掃では、まず中学生が部活動終了後、アリーナを雑巾掛けし床面のほこり等をふき取ります。そして午後5時過ぎから仕事を終えた一般の利用者が集まると、今度は床に洗浄液を塗布します。クリーナーで汚れたワックス層を落とし、雑巾で3度汚れを拭き取る仕上げにワックスを塗りました。利用者の皆さんはなれたもので洗浄液を塗る組クリーナーで汚れをはく離する組それをはく



クリーナーで汚れをはく離しそれをふき取る作業



和室の障子を張り替える女性講座の皆さん

き取る組汚れた雑巾を次々と洗い綺麗にして渡す組、ワックスを塗る組と作業が手際よく分担され、午後8時には古い化粧を落しメイクアップしなおされた床はピカピカに光り、輝きを取り戻していました。そして、清掃が終わると次のために洗剤やワックスで汚れた雑巾やモップを洗濯機で綺麗に洗いました。

また、三崎公民館では、女性講座の受講生の皆さんが和室の窓拭きや障子の張替えを行いました。くすんで破れていた障子が真新しい真っ白な障子に張り替えられると、何か空気が澄み切ったような晴々とした心地よい気分になりました。

こうして、地域の皆さんの手でも美しく守られている三崎総合体育館と三崎公民館でした。

1月

6日 生放送

Let's open the door! ③①

子ども放送局
ニュース
にじいろ玉手箱

「おしえてニュース」
「なんでも
やってみよう」
バトルロボットをつ
くろう!

「子ども特派員報告」
「おたよりコーナー」
など。

全国の体験活動情報が
ぎゅー。

(11:45)

再放送

6日 13:30~
10日 15:30~

13日 生放送☆

Let's open the door! ③②

夢スタジオ
ひとやくた
人の役に立ちたい
~日本ユニセフ協会
大使

アグネス・チャン
さん~

飢えや戦争のない
平和な世界をつくる
ため、自分はいった
い何ができるんだろ
う...?

アグネスさんと
いっしょに考えてみ
よう。

(11:45)

再放送

13日 13:30~
17日 15:30~

20日 VTR放送

Let's open the door! ③③

子ども
としょかん
ていがくねんとくしゅう
低学年特集
「ふゆ」

わくわく
どくしょランド
ママは詩を読み
パパはウクレレ

THE MAKING
たいこが
できるまで



(11:45)

再放送

20日 13:30~
24日 15:30~

27日 生放送☆

Let's open the door! ③④

チャレンジ教室
ものづくり
静電気で
回るモーター

バチッ!とくる静
電気。この静電気で
動くモーターを、身
近な材料でつくって

みよう。
講師 三条 歩
さん

(12:00)

再放送

27日 13:30~
31日 15:30~

子ども放送局



生涯学習センターでは、三階児童遊館において、子ども放送局を放映しています。楽しい番組が盛りだくさん。皆さんの参加をお待ちしています。

みんな来て! 見て! 参加してね!

☆ 生放送の番組では、質問・意見をファックス(03-5790-8154)、電子メールkodomo@niye.go.jpで募集中!

人権ポスター作品で特選受賞

九町小学校四年の林孝輔さんが、県教育委員会主催の人権尊重の意識を高めるためのポスター作品募集において特選に選ばれました。

この作品募集は、児童生徒の人権尊重の意識を高め、地域社会の啓発を図ることを目的に募集されたもので、県下の小学校低学年の部、小学校高学年の部、中学校の部、高等学校の部の四部門で各一点が特選に選ばれ、小学校高学年の部で見事、特選を受賞したものです。

伊方町立九町小学校

林孝輔
はろし こうすけ



ぼくは、一輪車に乗っている絵をかきました。一輪車に乗って



るのはぼくの友達です。そのとなりで、一輪車に乗るのを手伝っているのがぼくです。手を持って支えてあげたり、一人で乗れたのを喜んでる様子をかきました。

ぼくも、今では一輪車に乗れますが、一人で乗れるようになるまでには、家族や、友達に手を持つてもらったり、はげましてもらったりしながら練習したことを思い出します。だから、友達が乗れるように練習しているのを見ると、自分のことを、思い出しながらアドバイスしたり、手をかしてあげたくなりました。その気持ちを振り返りながら描いた絵です。

ぼくの学校には、遊ぶときも、助けてあげたり、助けてもらったりしながら一緒に楽しく過ごせる友達がいることがうれしいです。これからも、友達を大切にしていきたいと思います。

オーケストラがやってきた♪

総勢63名のフル・オーケストラ、神奈川県フィルハーモニー管弦楽団が、この三崎小にやってくる？ すぐには信じられない幸運が舞い込んだのは、今年5月のことでした。

本物の舞台芸術体験事業。文化庁主催のこの取り組みは、小学生から高校生までの児童生徒に、優れた舞台芸術にふれる機会を提供し、芸術を愛する豊かな心を養おうという目的で行われています。

しかも、他の公演・コンサートと決定的に異なる点は、自分たちが演奏に参加できると言うことです。演奏曲は全部で三曲。低学年の「おもちゃの交響曲」、高学年の「ペルシャの市場にて」、そして、「私たちだけの合唱曲」。

ん？ 私たちだけの？ そうです！ 何より素晴らしい

自分たちが作詞・作曲した歌を、オーケストラ伴奏で歌えるということでした。ふるさとの良さを集めた歌にしたい。明るく元気な曲



にしたい。子ども達の思いは膨らみま

した。

そして

当日。

「先生！

オーケス

トラ来た

よ。」子ど

も達の瞳

が輝いて

います。

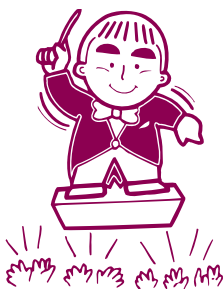
体育館の半分に埋めた本物のオーケストラ。生の演奏の迫力に、息をするのも忘れてしまったような子ども達。けれども、その迫力に勝るとも劣らない、力強い子ども達の歌声も、まさに本物の芸術でした。

「オーケストラを初めて聞きました。音が胸にどーんときました。」

「僕は将来、指揮者になりたいくなりました。」

「オーケストラで歌えたことが私の自慢です。三崎小学校にいて良かったです。」

こんなにも感動をくれたオーケストラ、万歳！ 音楽の持つ楽しさ、喜びを味わい尽くした一日でした。





学校通信



『橘岬祭』

三崎中学校

今年、再スタートを切った新生三崎中学校では、「橘」が色つき始めるちよつとこの頃行われる文化祭を『橘岬祭』(きつこうさい)と名づけました。

第一回『橘岬祭』は、十一月三日テーマ「new look」を掲げ開催され、生徒は、このテーマに沿って、企画の段階から三崎中オリジナルの色作りに奮起しました。当日、オープニング

の「巨大アート」では、全校で描いた岬の風景の中に、シンボルである風車を動かし、迫力と趣向を凝らした演出で、会場を沸かせました。重なり合う三枚の羽には、統合した

「串中・二名津中・三崎中」を意味付けており、これを回すことによって、お互いが持っている特性を一つにし「新しい色」を作り上げ、風に乘せ新生三崎中学校が始動していくことを表現しました。風食バザーでは、「おやじの会」による焼きそば販売等



で賑わい、いつもは台所に立たないお父さんの「へらさばき」も生徒の目にはまぶしく映っているようでした。

三崎中オリジナルの「新しい色」を模索しながら進められた第一回『橘岬祭』は無事閉幕し、今は、『橘岬祭』という名を永く豊かに育てていくために、次の目標に向かって全ての教育活動に全力で取り組んでいる最中です。

今年、足を運んでくださった皆様、変革し続ける三崎中学校をこれからも見守り、一年後の『橘岬祭』の更なる飛躍を期待して下さい。

元氣もりもり二見っ子

二見小学校

二学期も残りわずかとなった。各種盛りだくさんの行事や体験を通して、心身ともにたくましく、豊かに成長していると感じた「学期だった。サッカー大会を終えて一段落した

11月24日、親子クッキング教室と人権参観日を実施した。親子クッキング教室では、5年生親子が、栄養士の方の指導で、バランスのとれた食生活について学び、楽しく実習し、ヘルシーで簡単に作れる料理をおいしく味わった。みんな大満足し、その後家庭でも作ったという児童が何

人かいた。

午後からは、参観授業とCAPUわじまの講師2名による「ワークシヨップを取り入れた講演会を行った。元気いっぱい講師の方から、元気を分けて頂いて、豊かな気分になった。

また、心の栄養として、朝の読書タイムには、読み聞かせを行っている。ピップスおはなし会の方による読み聞かせからスタートし、現在は保護者や教職員、上級生が下級生へと読み手を替えて行っている。子ども達は目を輝かせ、身を乗り出して

聞き入っている。今後、しめ縄作り、マラソン大会を計画している。二見っ子の更なる成長を期待して。



文化祭(遊友祭)

伊方中学校

第九回文化祭を十一月五日(日)実施しました。PTA会員の参加率八十%で地域の方々の参加を含めると二百名以上の参加者を得て盛大に行うことができました。

内容等

午前中第一中学校内音楽会として合唱コンクール・学年合唱・フラスバンド演奏など第二部(昼の部)



とし、PTA厚生部の協力により風食バザー(おにぎり、サンドイッチなど)・保護者や地域の方々の協力によるチャリティバザー・学級独自の学習展示と学級イベントを実施。午後第三部としてつとえ伊方中広場として生徒・教員有志の出し物を披露しました。

生徒にとって一番印象に残ったイベントは、学校のトップを目指して二ヶ月近く取り組んだクラス対抗合唱コンクールではなかったかと思えます。最優秀賞は、三年二組が受賞しました。



この写真は、何だと思えますか。文化祭での出品を目指し選択教科美術の学習で生徒が共同で制作した最後の晚餐(レオナルド・ダ・ヴィンチ作)の模写したものです。これ以外にも体育館階段と本館一階階段に二つの力作があります。伊方中に来られた時は、是非ご覧下さい。

来年度は、伊方中創立十周年です。今年度よりもさらに充実した文化祭にしたものです。

伊方スポーツセンターをより

1日無料体験スクール キッズテニス& ボール体操教室

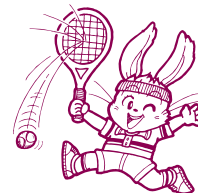


1月13日(土)14:30～16:00

- ◆対象者 5歳～8歳までの幼児・児童
- ◆会場 伊方スポーツセンター 3階アリーナ
- ◆定員 20名
- ◆受講料 無 料
- ◆持ち物 運動できる服装・屋内シューズ
(ラケットはスポセンで準備いたします。)

キッズテニス&ボール 体操教室2期生募集

- ◆時 間 14:30～16:00
- ◆期 間 1月20日～2月24日(毎週土曜日)
- ◆対象者 5歳～8歳までの幼児・児童
- ◆会 場 伊方スポーツセンター 3階アリーナ
- ◆定 員 20名
- ◆受講料 3,000円/1期(6回分)
- ◆持ち物 運動できる服装・
屋内シューズ
(ラケットはスポセンで準備
いたします。)



※年始は1月4日(木)から開館いたします。

● 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡下さい。

伊方スポーツセンター ☎ 38-1100 ☎ 38-0776



2月1日(木)までに体育功労表彰該当者は申請を

2月18日(日)に予定されている伊方町生涯学習大会で体育功労者表彰を行います。

次の表彰基準に該当される方は、伊方町教育委員会生涯学習課又は各地域総合支所地域教育課に備え付けの所定申請書に関係資料を添付し、2月1日(木)までに申請して下さい。

尚、表彰状の授与については、期日までに申請の有った表彰該当者のみ行います。

表彰基準・対象期間については、次のとおりですが、詳細な内容については、お問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

- 生涯学習課 ☎ 38-2661
- 瀬戸地域教育課 ☎ 57-2111
- 三崎地域教育課 ☎ 54-1114

【表彰基準】

(1) 個人の場合

- ア 個人競技で国、県、財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝者
- イ 個人又は団体競技の選手として県予選を経た四国大会以上の出場者

(2) 団体の場合

- ア 団体協議で国、県、財団法人日本体育協会が主催又は後援している大会の県大会優勝チーム
- イ 県予選又は推薦を経た四国大会以上の出場チーム

(3) 個人、団体を問わず国際大会出場者

【対象期間】

平成17年11月1日～平成18年12月31日までの間に開催された大会

児遊館より

プラコプターを作ろう！

1月20日(土)午後2時から、ペットボトルを使った羽根を使って飛ばして遊びませんか？参加される方は当日時間までに受付にお越し下さい。



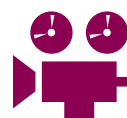
【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内児遊館 38-1020

映画上映会のご案内

1月13日(土)児遊館にて映画上映会を行います。

室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越し下さい。



場 所 児遊館内集会室

作 品 名 ファインディング ニモ

上映時間 1回目 10:00~11:40

2回目 15:00~16:40



【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内児遊館 38-1020

三崎から出土の縄文・弥生式土器等展示

冬休みに古い時代の生活や文化を生涯学習センターで学びましょう！

三崎公民館には、昭和53年三崎の中村地区から出土した弥生式土器や子持勾玉など、大変貴重な埋蔵文化財が旧三崎町内9ヶ所から数多く出土され展示されています。

この度、多くの方に見学して勉強していただくため、伊方町生涯学習センター4階企画展示室で展示会をすることとなりました。

つきましては、この機会に是非、祖先の生活や文化に触れて学習してください。

- 展示期間 平成18年12月16日(土)～平成19年1月28日(日)
- 展示場所 伊方町生涯学習センター 4階 企画展示室

問い合わせ先

伊方町生涯学習センター

電話(0894)38-1020(内線855)





図書館だより



今月の新刊

○一般向け

- 世界でいちばん良い医者に出会う「患者学」/
小林一哉 著, 前田 稔 監修
- 重曹活用ハンドブック
- ドキュメント安倍晋三/野上忠興 著
- ヤフー・グーグルの検索がわかる本
- あなたの「視力」はすぐ戻る/中川和宏 著
- これだけ違う男と女/渡辺淳一と女たち 著
- 人間のけじめ/上坂冬子 著
- 「伝える言葉」プラス/大江健三郎 著
- 月下の恋人/浅田次郎 著
- セブンパワーズ/アレックス・ロビラ 著, 田内志文 訳
- 手縫いのきほん/後藤三枝子 著
- 華の棺/西村京太郎 著
- 戦国 - 孤独な男 - 山本勘助/童門冬二 著 ほか



○子ども向け

- 泣くなツイ/長谷川隼平 作, 山本益子 絵
- 十二支のことわざえほん/高島 純 作・絵
- ともだちおまじない/内田麟太郎 作, 降矢なな 絵
- おおきな木/エリザベス・ローズ 文
ジェラルド・ローズ 絵、
ふしみみさを 訳
- ねぎぼうずのあさたろう その6/飯野和好 作 ほか

新成人におすすめの本

- 風に舞い上がるビニールシート/森 絵都 著
- ミーナの行進/小川洋子 著
- オシムの言葉/木村元彦 著
- 草花とよばれた少女/シンシア・カドハタ 著
代田 亜香子 訳
- いまこの国で大人になるということ/
苅谷剛彦 編著
- 政治参加で未来をまもう/
首藤借彦 著
- 仕事力 青版/
朝日新聞社広告局編 著 ほか



利用案内

- 開館日/火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
- 休館日/毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年末年始(12月29日から1月3日)・蔵書点検日

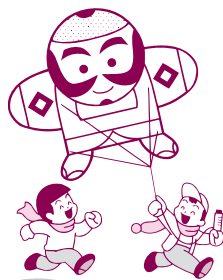
伊方町立図書館

伊方町湊浦1992番地
伊方町生涯学習センター2階
TEL(0894)38-0607 FAX (0894)38-0617
瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

1月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■…休館日

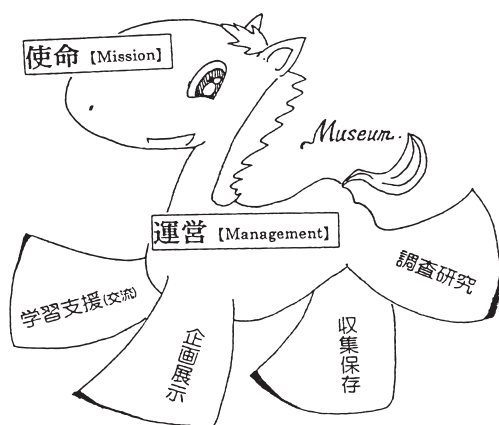


ピップスおはなし会のご案内

1月のおはなし会は13日(土)・27日(土)の午後2時から行います。

絵本の読み聞かせや
紙芝居などをおはなし
コーナーで行って
います。
みんな来てね!





新春特集コラム 「地域博物館」って何だ？

今回は趣向を変えて「博物館」についてお話ししましょう。
美術館も資料館も含め「博物館」は、この左の図のように4つの足で歩いています。1本でも欠けると上手く歩けません。誰です？面白おかしくピカソの絵でも展示すりゃ人は来るなんて言ってるのは？一時はそうかもしれませんが、しかしそれだけのこと。わざわざ佐田岬半島にある博物館がやるべきことっていったい何でしょう。

昔の暮らしが様変わりし、地元の人すら地域の歴史や文化を忘れ、町外に出て行く人も多くなりました。あなたは、この半島のことを伝えるコトバをいくつ知っていますか？この半島出身であることを誇れますか？社会はものすごい勢いで変わっています。そんな今だからこそ、埋もれず流されず、お金儲けでなく、右でも左でもなく、私たちの生きた故郷の証をしっかりと受け止める、変わらない場所が必要なのです。それを可能にするこの4本足の歩みを、町の皆さんと一緒に、しかも佐田岬半島に徹底的にこだわってやって行こうという博物館のあり方が、町見郷土館の目指す「地域博物館」なのです。

◆ 今月のきょうどかん ◆

2007年 1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

■＝おやすみ

休館日は都合により、変更する場合があります。

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合)
38-2661 生涯学習課
■開館時間 9:30～16:30
■休館 月ほか

町見郷土館から

幽谷上人



中浦の幽谷上人像(像高49.0cm)
(2006年11月撮影)

中浦の大師堂には、庵寺のユウコクさんと呼ばれる木像が伝わっています。地元の古老によれば、ユウコクさんは宇和島の方の火事を消した云々とのおぼろげな伝説があるだけで、長らくその実態が分からずにいました。ところが最近このユウコクさんが実在の人物だということが分かってきました。幽谷上人は弘治三年(一五五七)、伊予郡旧松前郷に伊予井氏の子として生まれました。相州(現神奈川県)塔之峰にある阿育王山阿弥陀寺の開基で、



幽谷上人入定の地(2006年11月撮影)

木食遊行僧として知られる弾誓上人の弟子として修行し、伊予に戻って各地を巡った後、寛永四年(一六二七)、現在の久万高原町下畑野川に阿弥陀寺(現在は廃寺)を建てます。

佐田岬民俗ノート

20

鉄の下駄・鉄の杖姿で人々に浄土宗を広め、篤い尊崇を受けましたが、寛永八年(一六三二)七五歳の時、地下の穴に籠って入定(聖者の死去)したとされ、その上に「お霊屋」と呼ばれる小さなお堂が建てられたのです(現在改築)。

「幽谷上人入定の地」は現在久万高原町指定史跡で、現地では今なお毎年二月一日の「お十夜」に上人の供養が行なわれています。いっぽう、これまでの調査で、昭和七年(一九三二)に、中浦で上人三百年忌供養の盆踊大会が開かれたことが分かっており、また久万に残る昔のお霊屋の扉には「予州宇和嶋領伊方中浦／安政五年壬午月十九日／四ツ時通／義助／嶋太郎／おふみ／おまつ／久助／五人同行」との墨書があって、安政五年(一八五八)にも中浦の人々との交流があったことがうかがえます。さあ、はたして幽谷上人と中浦の関係はいかに。それはまだ今後の調査を待たねばなりません。地域の知られざる歴史がまたひとつ明らかになりつつあります。

参考文献『松前町誌』『久万町誌』ほか 取材協力・久万高原町下畑野川の皆様



人権学習シリーズ 205

第58回 全国人権・同和教育研究大会に参加して

生涯学習課長 平石 茂

第58回全国人権・同和教育研究大会が、12月2日、3日の2日間愛媛県松山市で開催されました。

今大会におきましては、地元テーマを「みどりの山 あおい海 愛媛から発する人権文化～人類の未来は人権にかかるとるぞなもし～」と設定し、愛媛県武道館をメイン会場に、心に響く太鼓集団の「龍心太鼓」演奏にはじまり、松山市内で10分科会33会場に分かれて研究協議がおこなわれました。

私の参加した分科会では、人権確立をめざす地域の教育力というテーマで、「部落問題をはじめとするさまざまな人権問題の解決をめざす地域の教育力をどう創造しているか」と題してビデオを活用した人権啓発のあり方や実践活動などの研究発表・討議など活発な意見交換がありました。特に印象に残った事例を紹介し、参加報告とさせていただきます。

宇和島市遠見子ども会の「人権啓発劇の取り組みを通して」の研究発表でした。

遠見子ども会は1982年に、「子どもたちに差別に負けない力を付けさせたい」という人々の気持ちから生まれ、現在も差別に負けない力を付けさせるとともに、あらゆる差別の解消を目的として「集まる、学ぶ、伝える」を活動の合い言葉に、地区の学習会として小学生から高校生まで一緒に活動しています。

水ヶ浦小学校 教諭 秋山 紀子

私は人権・同和教育を担当してまだ2年目と日が浅いため、このような大きな大会に参加する機会に恵まれたのは初めてのことです。県同教・四同教にも参加したことがないにもかかわらず、分科会の記録という大役も仰せつかり、かなり衝撃的なデビューでした。

私が参加したのは自主活動の分科会です。二日間にわたり5名の方の報告を拝聴しました。何より心を動かされたのは、みなさんの人権・同和教育に取り組む真摯な姿勢です。一つ一つの言葉に重みがありました。参加者の方々の意見も、忌憚のない率直なもので、他の研修会では味わうことのなかった独特の雰囲気を肌で感じることができました。

報告者の仲間たちが、報告者の日頃の熱心な活動をさらに会場のみなさんに報告する場面もありました。共に歩む仲間としての連帯感を強く感じました。

分科会では、同和教育に関して自分の立つ位置は、ということが再三投げかけられました。しんどい思いをしている子どもと寄り添い続けること、しんどい思いをしている子どもが背景にどんな問題を抱えているのかを知り、支え

2004年度より「人権を守る町民のつどい」で人権啓発劇を発表しています。「住民参加のつどい」にしたいという主催者側の思いと、「子どもたちが多くの人の前で、自分の思いを堂々と語り伝えることが出来るようにしたい」とする子ども会の思いが重なり、人権啓発劇を発表することができたということです。

地区の方々の言われた言葉に「子ども会が元気だと地区のみんなが元気になる」というのです。

また、「人権を大切にすると人は、周りのみんなを幸せにする」という言葉も聞かれ私も感銘を受けた次第です。

最後に、色々な実践研究発表を聞き、「差別を解消するには人と人とのつながり・相手を思いやる気持ち・学習を通して、こんな事おかしいんじゃない？」と感じる事ではないかと思いました。



続けること。子どもと共に活動しなければ、差別の現実も見えてこないという訴えもひしひしと伝わって来ました。

私の立場でできることは何か、さらに真剣に考えるようになりました。今日の前にいる子供達の未来を明るくするために、一社会人としての責任を痛感しています。私自身がしっかりと人権感覚を磨き、子供達の心を温かく育んでいきたいと思います。

貴重な研修の機会をくださったことに感謝しております。



文芸

俳句

伊方俳句会

育まる文化や永久に実千両
山崎美喜
恙なく暮るる一日や葱きざ
井上良江
む
神宿る銀杏の巨木や初太鼓
上田サチエ
着脰れし子の乗り回す一輪車
渡辺日出子
唐黍を軒下に吊る道の駅
二宮寿賀子
燕一つ真白に漬けし一人膳
松坂正子
暖かき味噌汁笑顔の孫と居て
菊池ましえ

木に登り更に爪立ち蜜柑摘む

篠川勝子

菊香る受賞輝く七十路なり

篠川晴子

石路と野地菊香る日暮れ道

宇都宮法子

すこやかに母百才の春迎ふ

田中初子

山茶花やひんやり乾く濯ぎ物

門田千枝

生駒山借景に観る初紅葉

明神つた子

秋の日の恩師と語る五十幾年

宇都宮睦子

百畳の冷えに手をつき祈禱受

木戸悦子

瀬戸北斗の会

時刻む秋の夜長の古時計
釣り人の影長々と秋の暮れ
井上奈津子
風に舞う落葉命を散らすごと
原発の防災訓練石路の花
佐々木順子
蜜柑つむ二人黙りて何思う
夫のため野菊摘みきて枕縫う
藤村富士子

あづかりし児は長き夜を寝も
やらす

大池の水ぬかれたる村の秋

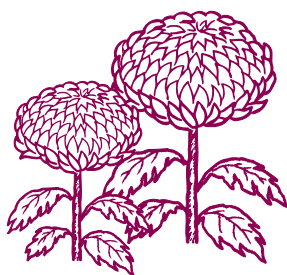
伊藤植美

三机句会

岬路は何方向いても石路の花
中村愛坊
晩秋や亡き人偲ぶみんな餅
松前シズ子
しんしんと海より時雨来たり
山本タカエ
きびしさの中にひっそり雪中
和泉裕子
窓の辺に山茶花の紅咲きにけ
二宮清美
幼き日掠の実食べし宮を訪ふ
大野律子
段畑の岸に賑わふ石路の花
安田増子
風車増え車椅子押す丘寒し
長谷美久仁
朝寒や金比羅宮の祓い受く
高地瑠美子
カトレアに日差こぼれて華や
菊岡三代子
げり

あみだ句会

野牡丹のむらさき風の散らし
松本ツタ子
けり
昏れゆくも辺は石路の花明り
阿部ヨシ子
台風禍燃ゆることなきカンナ
菊池タツエ
井戸の蓋新らしくなり水澄め
中村千代香
立ち並ぶ風車の丘や秋深む
池上松子
審判のコール餅す菊日和
木原敬明
杉を打つ夫一合の温め酒
塩崎信子
幾度もてのひらにのせ新大豆
池上馨
父と子が歩く落葉の音やさし
池井為古



短歌

かたばみ短歌会

冬晴れの空に大きな綿雲が動
くともなくゆつたりと浮く
松坂正子
初冬の空陽さしに輝く白雲は
形を変へつつ南に流るる
梶田ミヨコ
裏庭を逃げるは早しブロック
塀を越えんとする時イタチ振
りむく
菊池朱見子
たつぷりと酒とみりんをふく
ませて鯖の味噌煮に縊りをか
けたり
武田美生子
街路樹も桜並木も紅葉しては
らりはらりと秋深まりぬ
岡山綱子
枯原の芒の群れに分け入りて
いつしか視野より消ゆる後姿
宇都宮すみ
灯を消せば十六夜の月さえさ
えと墨絵の如き庭を照らせり
梶谷千代子
動作にぶき鯉をねらへる鷺一
羽池に縄張りほつと一息
是沢美那恵